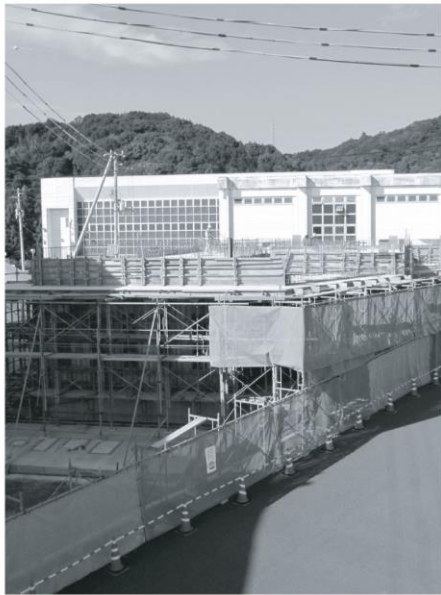


町長所信

(要約)

一日の台風18号は、愛知県に上陸し、列島を縦断し、近畿地方を中心に特に京都、滋賀、福井の3府県には気象庁が初めて大雨特別警報を出すなど、数十年に一度の大雨となり河川の氾濫や土砂災害など大きな被害をもたらしました。天災にかかる日頃からの準備訓練の大切さを改めて痛感したところです。



建設中の学校給食センター

懸案である防災対策と雇用の創出ですが、防災については、小学校と保育園の統合移転もほぼ完成し、現在は給食センターの建設工事を行っています。本年度中には工事が完成し、来年度からは調理業務を民間に委託したいと考えています。町内から事業者が減少し続ける中、何としても給食センターの運営業者を町内から思っていました。現時点では実現の可能性は非常に低い状況です。給食事業は今後町内外の給食から老人福祉施設、独居世帯への配食へと事業拡

大が可能な成長事業と考えますので、今後町内事業者の起業を期待しています。つぎに海部病院用地の造成ですが、徳島県で間もなく工事発注されると聞いています。海部病院は災害時の海部郡の拠点病院であるだけでなく、常は牟岐町で最も交流人口が多く、経済活動も活発な施設の一つです。また、今回の移転工事に伴い今後発注される牟岐バイパス工事も含め、継続的な公共工事が見込めるものと考えています。この海部病院を一つの核として、また、リーディング事業として牟岐町の雇用の増加を大いに期待しています。しかし、これだけでは牟岐町の再生は望めるものではありません。最も重要な一次産業から三次産業までそれぞれの分野で強力なリーダーが必要で、現在、再生会議の開催により、このような人材の発掘、育成に努めています。いまだ実をあげていません。今後とも努力を積み重ねていきたいと考えています。

9月定例議会の

議案の内容と審議

定例議会が9月18日から20日まで開かれました。開会日には福井町長が、健全化判断比率等の報告、決算認定、条例改正案、補正予算案、人事案件などを提案説明し、議員から意見書案3件の趣旨説明を行いました。

再開日には4名の議員が一般質問に立ち、出羽島の未来像、全国学力テスト、敬老祝金、健康管理センターの公募などについて論議されました。

そして、24年度各会計決算認定7件を常任委員会に付託し、町長提出の報告2件を承認、条例改正など議案13件と議員提出の意見書3件が可決されました。

専決

◎町道の路線変更
病院用地造成工事に伴い、町道杉山1号線の終点を変更するもの。(原案承認)

報告

◎24年度決算における健全化判断比率及び資金不足比率
実質公債費比率5・8%、
将来負担比率58・9%で、
実質赤字比率、連結実質赤字比率、資金不足比率は、
収支が黒字であるため、早期健全化基準及び財政再建基準には該当せず、監査委員から「概ね良好」との意見が述べられているもの。